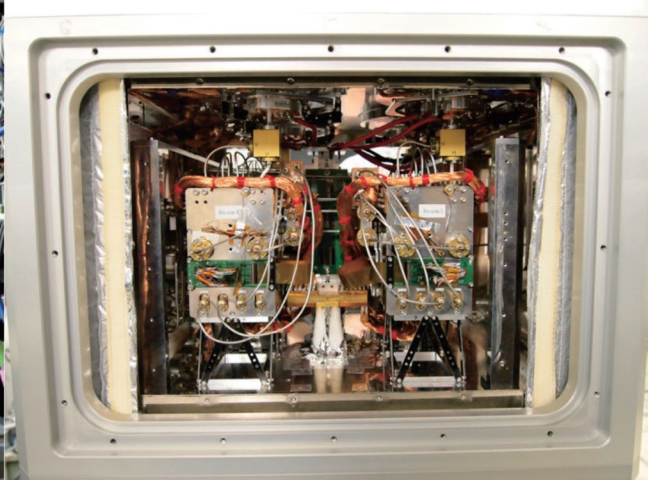
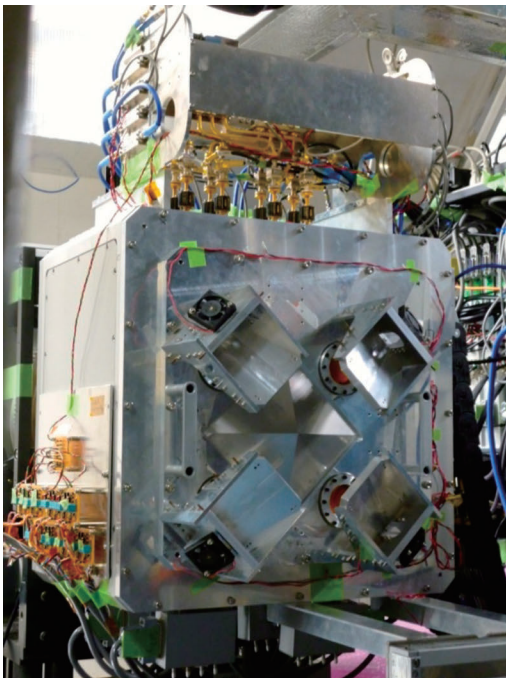


# 野辺山レガシー特集ギャラリー



野辺山宇宙電波観測所。一番奥の大きなパラボラ・アンテナが、レガシー観測で使用された45 m電波望遠鏡。

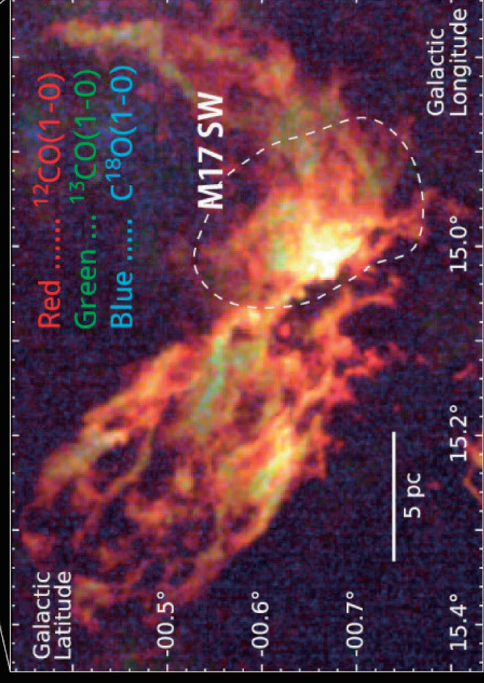
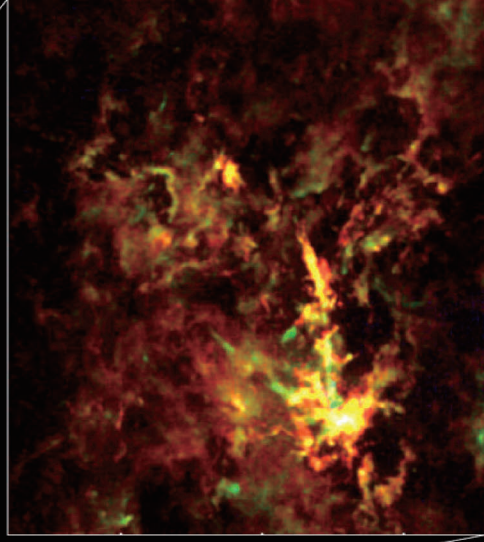
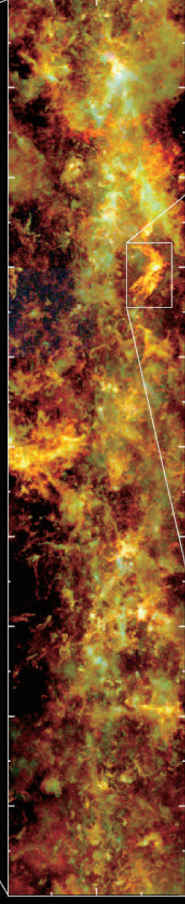


レガシー観測を含めた近年の野辺山45 m電波望遠鏡の観測で、主力装置として使用されている受信機FOR-ESTの外観（左）と内部（右）。

# 風神

FUGIN

FOREST Unbiased Galactic plane Imaging survey with Nobeyama 45-m telescope



NINS NOBEYAMA FOREST

Credit: NAOJ/NASA/JPL-Caltech

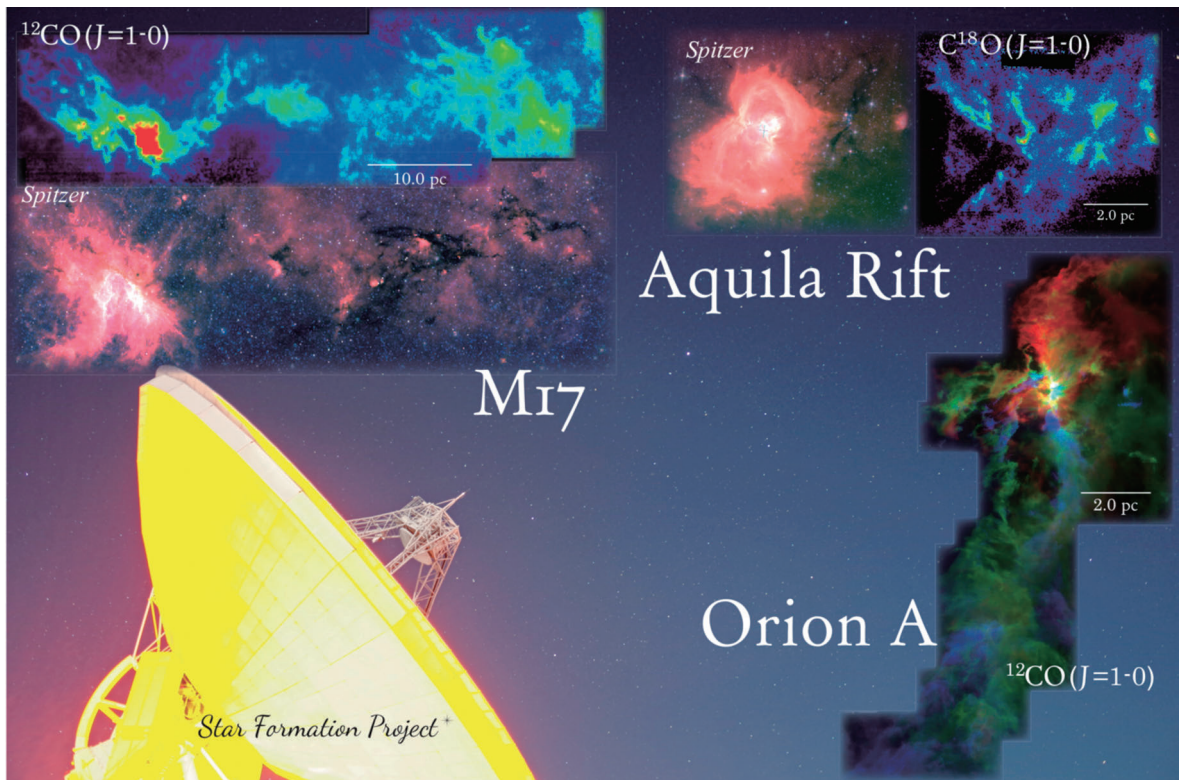
上段上: FUGINにて得られた、銀経10-50度における天の川3色電波画像。赤:  $^{12}\text{CO}$ , 緑:  $^{13}\text{CO}$ , 青:  $\text{C}^{18}\text{O}$ の分子からの電波強度。

上段下: 上段上と同じ領域のSpitzer衛星による赤外線画像。赤:  $24\ \mu\text{m}$ , 緑:  $8\ \mu\text{m}$ , 青:  $5.8\ \mu\text{m}$ の赤外線強度。

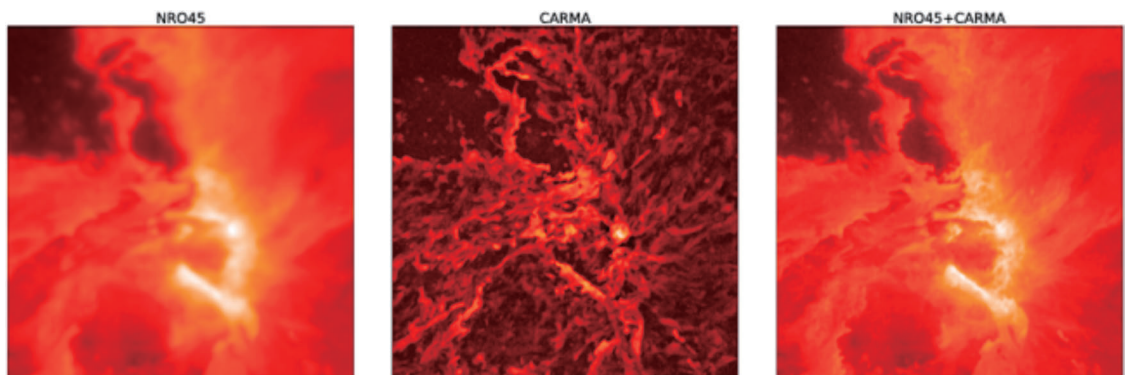
下段上: FUGINにて得られた銀経12-22度の3色電波画像。配色は上段上と同様。多数のフィラメント構造が分かる。

下段左下: 天の川銀河で最も活発な大質量星形成領域の一つ、W51付近の拡大図。配色は上段上と同様。

下段右下: 大質量星形成領域M17付近の拡大図。複雑に入り組んだフィラメントが見える。配色は上段上と同様。

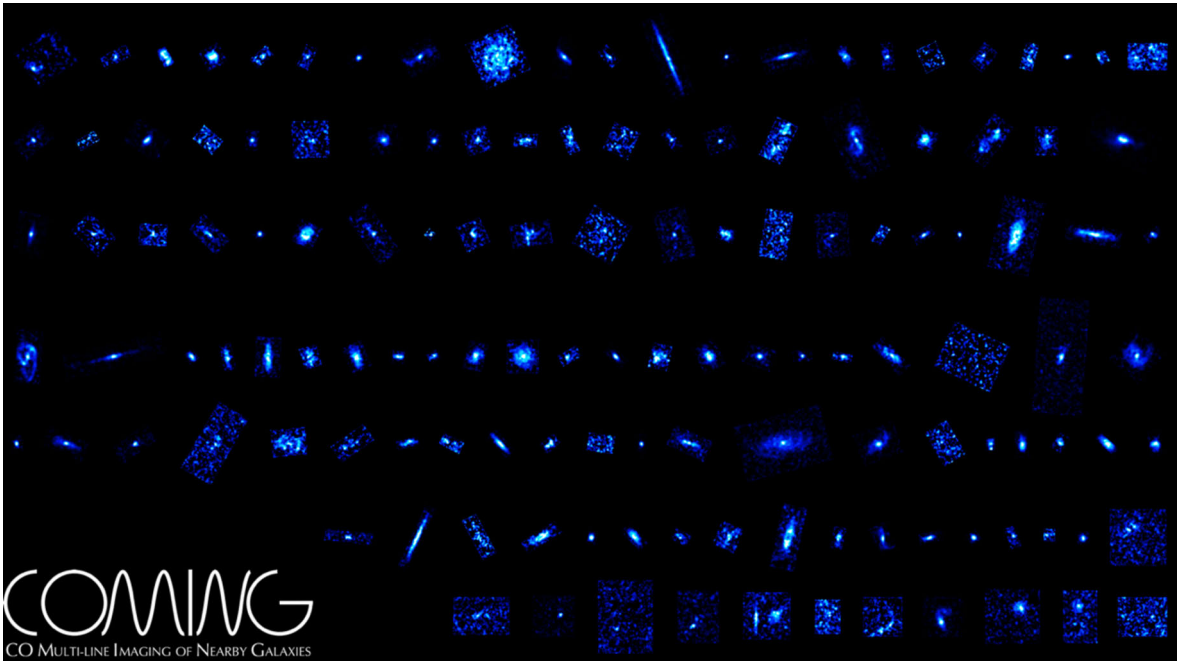


星形成プロジェクトによるオリオンA分子雲, Aquila Rift, M17.

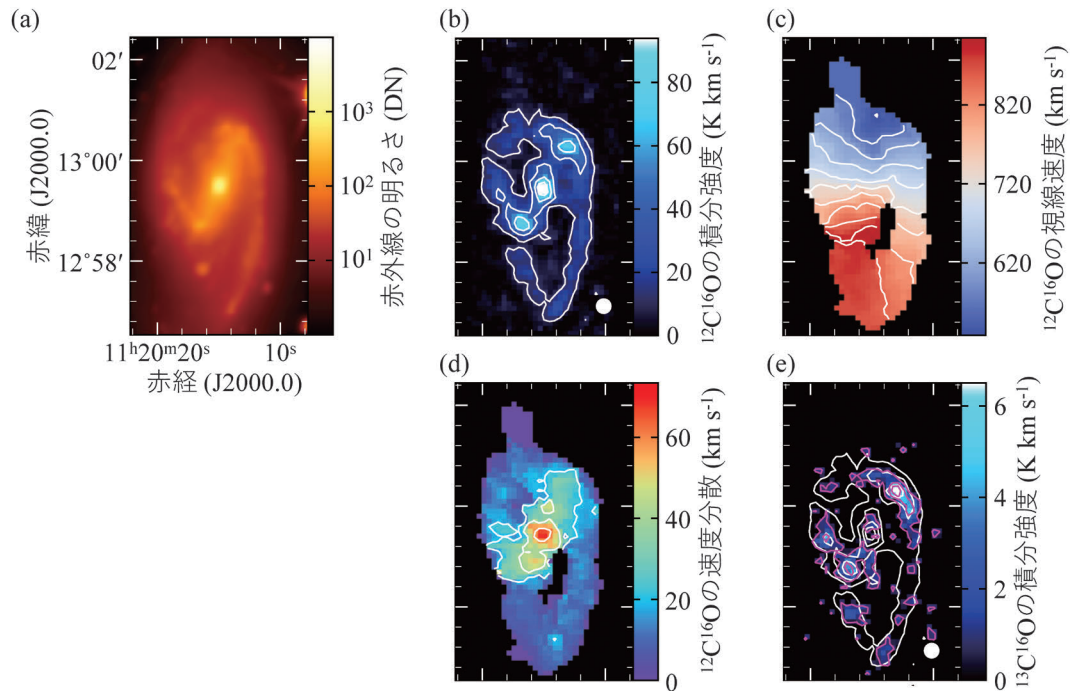


オリオンA分子雲での、野辺山45 m鏡とCARMAのデータ合成の様子<sup>1</sup>.

<sup>1</sup> Kong, S., et al., 2018, ApJS, 236, 25



COMINGで取得した全147銀河の $^{12}\text{C}^{16}\text{O}$   $J=1-0$  スペクトル線の積分強度図。



棒渦巻銀河 NGC 3627. (a) WISE  $3.4\ \mu\text{m}$ , (b) COMING の  $^{12}\text{C}^{16}\text{O}$   $J=1-0$  スペクトル線の積分強度, (c) 同速度場, (d) 同速度分散, (e)  $^{13}\text{C}^{16}\text{O}$   $J=1-0$  スペクトル線の積分強度. 白いコンタは (b) と同じ<sup>2</sup>.

<sup>2</sup> Sorai, K., et al., 2019, PASJ, 71, S14